

3 相談支援部会

資料 3 - 3

(1) 平成29年度検討事項と結果

ア 検討事項

- (ア) 事業報告について
- (イ) 相談支援体制の整備について

イ 検討結果

- (ア) 事業報告の様式を変更し、課題だけではなく好事例についても報告できるようにしたことにより、地域課題や社会資源の発見に繋がり、相談員同士が共有できる情報が増えた。
- (イ) 市内の事業所情報を、視覚的に分かりやすいようにサービスごとに色分けした「刈谷市福祉事業所マップ」を作成した。随時ホームページにて最新情報に更新していくことで、適切な事業所情報を利用者へ提供できるようにした。

(2) 平成30年度検討事項

相談体制の充実と地域課題の解決

ア 事業報告による地域課題の検討

事例検討研修会や事業報告により地域課題を把握し、解決に向けた方策を検討する。また、事例提供を行う事業所を4事業所から基幹相談支援センターとひこうきぐもを加えた6事業所に増やすことで、様々な角度からより多くの事例に触れることができるようにする。

イ 地域移行・地域定着に向けた検討

4月から、新たな対象者への地域移行支援の取り組みを始める。精神科病院に入院している人や施設に入所している人のうち、充実した生活を地域で送ることを望む者に対して、住み慣れた地域を拠点として、医療、福祉等の関係機関と連携し支援することにより、入院患者の減少及び地域生活の継続を図る。